

③キャラクター事例

1	警視庁マスコットキャラクター 「ピーポくん」	<ul style="list-style-type: none"> ● 親しまれるように「いろいろな動物の可愛い部分をイメージしてデザイン」。その可愛らしさはデビュー当時から話題に。 ● 各種グッズを製作・販売。キャラとして定着。 ● Web サイトも用意。 ● テレビドラマにも登場して全国区に。真似たキャラクターが登場。
2	東京電力マスコットキャラクター 「でんこちゃん」	<ul style="list-style-type: none"> ● 性格などの設定(キャラ設定)がしっかりとなされている。 ● 漫画家の内田春菊がキャラクターデザインを担当。 ● 「電気を大切にね！」というフレーズも定着。 ● 省エネキャンペーンキャラとして定着。 ● 大量の広告出稿。
3	熊本県 PR マスコットキャラクター 「くまモン」	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインはクリエイティブディレクターの水野学氏。 ● 性格などの設定(キャラ設定)がしっかりとなされている。 ● 脚本家・小山薫堂が仕掛け人。 ● 地道な営業活動も行った。 →くまモン隊を結成して県内各地でキャラバン活動を行っており、幼稚園・保育園・小学校の訪問や各イベントなどで、ボンボ藤井によるテーマソング「くまもとサプライズ!」に合わせて踊る「くまモン体操」が披露されている。 ● 当初は新幹線開業までのキャンペーンキャラクターであったが、人気が出たこともあり、県の統一イメージキャラクターに。 ● 2011年ゆるキャラグランプリを獲得。全国的な知名度があがった。 ● 重点エリアで人気を確立(いきなり全国区ではない)。 ● キャラクターの商標利用料は無料。
4	奈良県マスコットキャラクター 「せんとくん」	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京藝術大学大学院教授・彫刻家の藪内佐斗司氏がデザインを担当。 ● 発表当初は「気持ち悪い」などの批判の声があがる。また、制作経費が1,000万円超にも達したことなどで批判が起こった。しかし、それをマスコミなどが取り上げることで話題となり、認知度・人気ともに上昇した。
5	愛・地球博マスコットキャラクター 「モリゾー・キッコロ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 新進気鋭の若手デザイナーによる指名コンペティションを経て、キャラクター作家のアランジ アロンゾ氏のデザインを採用。愛称は、一般公募より選定。 ● 「愛・地球博」閉幕後、グッズを発売したり、ローカルTVに出演するなどした。 ● 性格などの設定(キャラ設定)がしっかりとなされている ● エコを代表するキャラクターとして活躍。